

# 新型コロナウイルス感染症対策特集 海外トピックス【臨時版】

VOL. 11

- 世界中で感染拡大している新型コロナウイルス感染症。特徴ある対策を実施している国や駐在員事務所のある国・地域を中心に、各国の「今」をお伝えする、駐在員トピックス臨時版です。各事務所から情報が届き次第、随時発行します。

地域外交課 | ケンブリッジ大学による「新しい生活様式」の実践、提案

海外全般 | 新型コロナウイルス感染症に係る各国・地域の状況と日本政府の対応



## 1 要 旨

ケンブリッジ大学のウィリアム・サザーランド教授（環境保全学）が「with コロナ時代」における「新しい生活様式」を公表した。欧州などで実践、提案された 313 項目が 7 つのカテゴリーに分類されている。

日本の厚生労働省が推奨する実践例よりも具体的な対策が示されているものもある。

## 2 概 要（一部抜粋）

カテゴリー	要 点	具体的対策
①身体的距離の確保	<ul style="list-style-type: none"> <li>最も重要な要素の一つ</li> <li>新型コロナウイルス感染症の主な感染経路は、咳などの飛沫感染（飛沫は最大 8 m 飛翔）であるため、特に身体的距離（ソーシャルディスタンス）の確保が大切</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>在宅勤務の推奨・強制</li> <li>家庭で授業等の受講が可能な環境整備（オンライン学習の充実）</li> <li>職場での感染者発生に備え、チームを分けた業務対応 等</li> </ul>
②物の表面からの感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>ウイルスが付着している物の表面に触れた後、手で鼻や口、目に触れることで感染</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>消毒液や扉等は自動化し非接触型にする</li> <li>会計時、スマートフォンのスキャナーを利用（極力現金を扱わず店員との接触を避ける） 等</li> </ul>
③衛生面の強化	<ul style="list-style-type: none"> <li>個人の衛生意識の向上。特に手洗い必須</li> <li>マスクやフェイスカバーを着用することを推奨</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>生活困窮世帯へのマスク等の購入補助金を支給</li> <li>場合によってはすぐに消毒せず、ウイルスの消滅を待つ 等</li> </ul>
④排水からの感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>2003 年、香港で SARS（重症急性呼吸器症候群）が感染拡大した原因は下水道設備の欠陥であると WHO は結論付け</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>排水設備の機能を継続的に確認 等</li> </ul>
⑤エアコンを介した感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>陽性患者の病室の換気システムで、新型コロナウイルス感染症を引き起こすウイルス粒子が検出されたとの研究結果</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>換気システムの定期清掃 等</li> </ul>
⑥動物を介した感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>新型コロナウイルス感染症の拡大に動物が影響を与えるとの根拠はないが、米国ではライオン、トラへの感染、香港などでは猫や犬への感染を確認</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>野性動物の保護、治療、必要に応じた飼育 等</li> </ul>

⑦地域間での感染	<ul style="list-style-type: none"> <li>・パンデミック（感染爆発）の初期段階において、移動制限は極めて重要</li> <li>・感染拡大後も、感染状況が異なる地域間の移動制限は感染拡大防止に有効</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・抗体の保有、又は未感染であることを証明（スタンプ等の発行）等</li> </ul>
----------	---	---

※英語の原本及び和訳した 313 項目は地域外交課ホームページを参照  
 地域外交課ホームページはこちら →



出典：<https://covid-19.biorisc.com>

本県の交流重点国・地域等の新型コロナウイルス感染症の状況と日本政府の対応は、以下のとおりです。  
(7月13日午後5時現在)

国・地域	各国・地域の状況			日本政府の対応		
	感染者数 ( )は前日比 ※1	死亡者数 ( )は前日比 ※1	日本人の 入国制限 等	感染症危険 情報レベル ※2	上陸拒否 (世界129か国・地域)	・基準日以前の 査証効力停止 ・査証免除措置停止
中国	85,568 (+46)	4,648 (0)	○	3	○	○
韓国	13,479 (+62)	289 (0)	○	3	○	○
モンゴル	230 (+3)	0 (0)	○	2	-	○
台湾	451 (0)	7 (0)	○※4	3	○	-
シンガポール	45,961 (+178)	26 (0)	○	3	○	○
タイ	3,220 (+3)	58 (0)	○	3	○	○
インドネシア	75,699 (+1,681)	3,606 (+71)	○	3	○	○
ベトナム	372 (+2)	0 (0)	○※3	3	○	○
マレーシア	8,718 (+14)	122 (0)	○	3	○	○
フィリピン	56,259 (+2,037)	1,534 (+162)	○	3	○	○
インド	878,254 (+28,701)	23,174 (+500)	○	3	○	○
アメリカ	3,225,950 (+62,369)	134,392 (+906)	-	3	○	-
ロシア	733,699 (+6,537)	11,439 (+104)	○	3	○	○
ブラジル	1,839,850 (+39,023)	71,469 (+1,071)	○	3	○	-
日本	21,868 (+366)	982 (0)				

※1 WHO発表による。ただし、台湾のみ、同衛生福利部発表による。

※2 外務省発表による。

感染症危険情報レベル3：渡航はやめてください（渡航中止勧告）。

レベル2：不要不急の渡航はやめてください。

※3 日本・ベトナム両政府は6月19日、相互に入国制限を緩和することに合意し、6月25日には日本のビジネス関係者などがベトナムへ渡航。

※4 台湾は6月22日から、日本を含む一部地域からのビジネス目的の渡航者に対し、一定の条件下で入境後の隔離期間を短縮している。

※5 フランスやイタリアなど欧州の一部の国では日本人に対する入国制限を解除。（ただし、入国後に一定期間の隔離を求められる場合がある。）